

# デジタル・トランスフォーメーション活性化に向けた取り組みの提案～OASSビジネスモデル～

石田奈々, 稲石正之, 吉川重征, 呉隆司, 鳥野剛史, 東豊, 平山哲, 山本貴大

## 開発における問題点

経済産業省のDXレポートでは「DX達成に向けた目標設定が困難」の問題(別紙)と並んで、「技術的負債」の問題が深刻である。

技術的負債の問題	ブラックボックスOSSの流用	レガシー化再レガシー化
対ベンダ	仕様書がなく、顧客対応が長期化	新規開発・事業継続のリスク大
対ユーザ	ベンダに丸投げ	脱却のコスト大

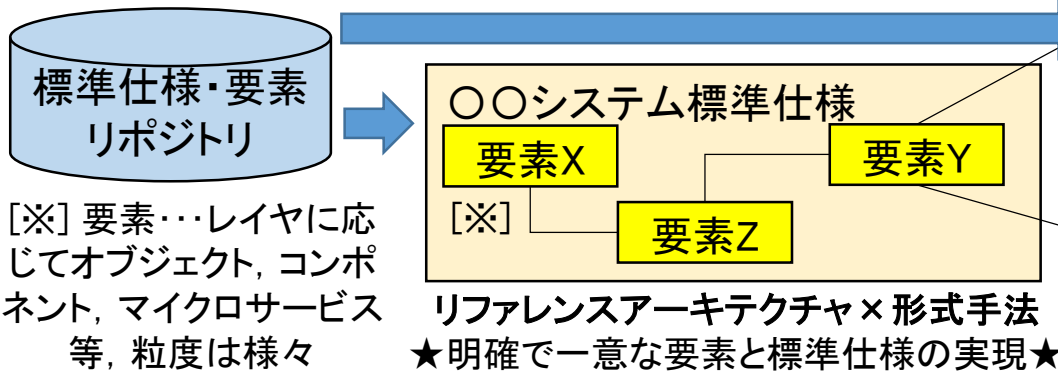
## 手法・ツールの適用による解決

下記各手法の考え方を融合し、技術的負債解消への新たな概念、OASSビジネスモデルを提案する。

OSS	有志コミュニティ・無償の思想
要求工学	ドメイン共通・横断の要求分析
アーキテクチャ	マイクロサービス指向によるリファレンスアーキテクチャ創出
形式手法	厳密な記述、リファインメント等

## OASS(Open Architecture & Specification Software)モデル提案

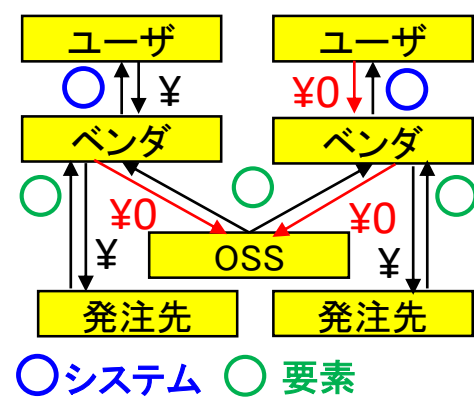
OSSのように有志主導でレイヤ別アーキテクチャと仕様を標準化し、提供まで一元管理するビジネスモデル



開発元	価格	リリース	サイズ	...
A社	1000円	2021/8/1	50 MB	...
B社	500円	2021/9/15	300 MB	...
C社	700円	2021/10/1	10 MB	...

各ベンダは標準仕様を満たす要素を提供・サービス運用

### 現状のSIビジネスモデル

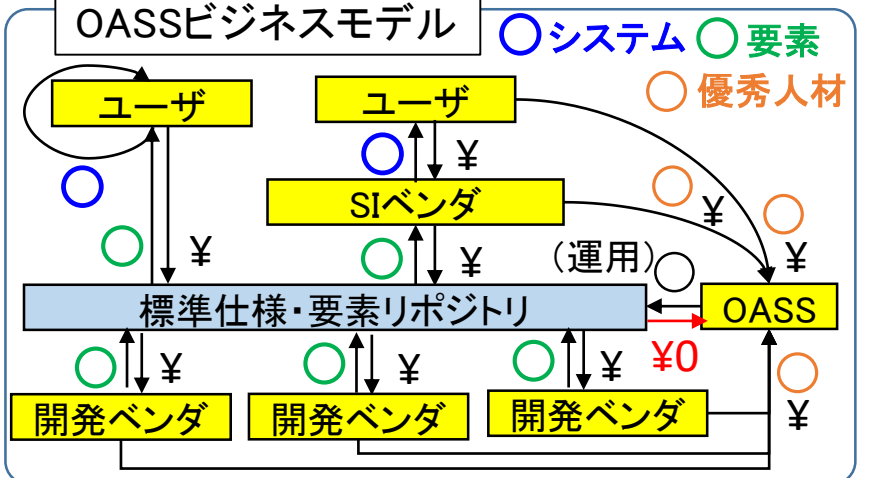


【従来】  
縦割りで替えが効かない

【解決策】  
リポジトリを販売所として運用するビジネスモデル

【目指す姿】  
あるベンダが難航しても別ベンダが対応可能

### OASSビジネスモデル



## ユーザ・ベンダへの効果

OASS特徴	要素の仕様	明確な仕様	標準の仕様
対ベンダ	新規参入リスク低減	ブラックボックス脱却	レガシー化防止
対ユーザ	ベンダ切り替えが容易	顧客要求を自ら選択	業界内非互換解消

OASSビジネスモデルでブラックボックスやレガシー化問題を解消し、ベンダとユーザを継続的にWin-Winの関係へ

- ・メインフレーム時代 ⇒ IBM互換の優れた共通仕様
- ・オープン時代 ⇒ ハードウェアマルチベンダ(高コスト)
- ・クラウド時代 ⇒ 有志による継続的な実装(OSS)
- ・新OASS時代 (各時代の利点融合) ⇒ 有志による継続的な優れた共通仕様
- ・ソフトウェアマルチベンダ(低コスト)

## 今後の展望

- ・期間と収益の関係をシミュレーションし、OASSビジネスモデルの効果を定量的に評価する。
- ・OASSの実現でDXを阻害する技術的負債を解消し、ベンダとユーザともにWin-Winで、円滑なDevOpsを実現する。